

# 日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2022年1月28日 金曜日

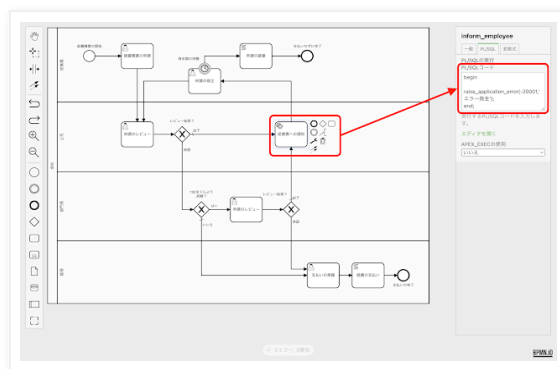
## Flows for APEXによる経費精算アプリの作成(8) - フロー・モニター

Flows for APEXでは、ワークフローの実行中に発生したエラーを**フロー・モニター**から確認することができます。エラーの原因を取り除いた後、エラーが発生したステップから再実行することもできます。

実際にエラーを発生させて、フロー・モニターの使用方法を確認します。

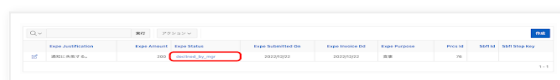
ステータスがdraftのフロー・ダイアグラムを開き、タスク**従業員への通知**の**PL/SQLコード**をnull;から以下に変更します。このタスクが実行される時、つまり上司または部門長によって経費精算の申請が却下されたときに、タスク**従業員への通知**で**エラーが発生**します。

```
begin
  raise_application_error(-20001,'エラー発生');
end;
```

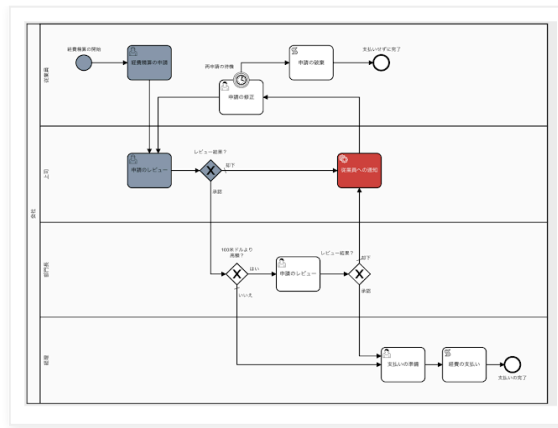


**変更の適用**を実行し、フロー・ダイアグラムの変更を保存します。

APEXアプリケーション**経費精算 - 開発中**を実行します。従業員で経費精算を申請し、上司によって、その申請を却下します。ステータスは**declined\_by\_mgr**になります。



**declined\_by\_mgr**をクリックし、ワークフローの進捗をビューワーで確認します。タスク**従業員への通知**が赤くマークされ、エラーが発生していることがわかります。



Flows for APEXのアプリケーションを実行し、インスタンスのステータスを確認します。

経費精算のバージョン2に、エラーが発生しているインスタンスが1つ、レポートされています。この数値をクリックします。

ステータス	プロセス	バージョン	開始日時	終了日時	エラー
エラー	経費精算	2	2022/12/22 09:00:00		1
完了	経費精算	1	2022/12/22 09:00:00		0
完了	経費精算	2	2022/12/22 09:00:00		0

画面が**フロー・モニター**に移り、エラーが発生しているインスタンスの一覧とフロー・ダイアグラムが表示されます。**詳細**をクリックして、特定のインスタンスについてエラーの詳細を表示させます。

ステータス	プロセス	バージョン	開始日時	終了日時	エラー
エラー	経費精算	2	2022/12/22 09:00:00		1
完了	経費精算	1	2022/12/22 09:00:00		0
完了	経費精算	2	2022/12/22 09:00:00		0

エラーが発生したワークフロー（プロセス・インスタンス）の詳細が表示されます。**履歴**の表示やフロー・ダイアグラムの**タスク**をクリックすると、エラーの詳細を確認できます。



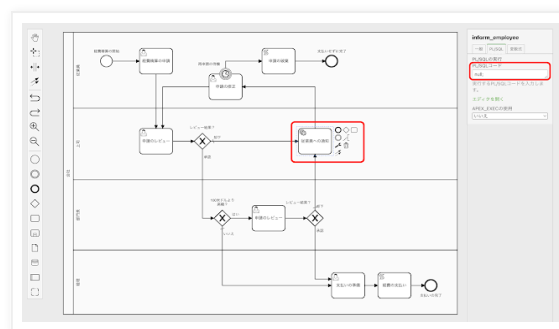
履歴の表示の実行結果です。ユーザー定義例外の発生が報告されています。フロー・ダイアグラムで赤くなっている、タスク従業員の通知をクリックしても同じ表示ができます。

ユーザー	タイムスタンプ	イベント	コメント	エラー・スタック
APEXDEV	23.12.2022 09:05:00	error	Process 76: Task Inform_employee failed due to PL/SQL error - see event log	ORA-06512: PL/SQL: ユーザー定義例外が発生しましたが、転送されませんPL/SQL: APEXDEV.FL00M_PLSQL_RUNNER_PKG, #1153 ORA-06512: プログラム ORA-06512: PL/SQL: APEXDEV.FL00M_PLSQL_RUNNER_PKG, #1153 ORA-06512: PL/SQL: APEXDEV.FL00M_PLSQL_RUNNER_PKG, #1153 ORA-06512: PL/SQL: APEXDEV.FL00M_PLSQL_RUNNER_PKG, #1153 ORA-06512: PL/SQL: APEXDEV.FL00M_PLSQL_RUNNER_PKG, #1153
APEXDEV	23.12.2022 09:05:00	success		
APEXDEV	23.12.2022 09:05:00	success		

インスタンス・イベントの変数より、プロセス変数の追加、変更、削除も可能です。画面には対話グリッドが使われています。

変数	タイプ	値
APEXDEV_ID	NUMBER	200
APEXDEV_ID	NUMBER	100
APEXDEV_ID	NUMBER	21
APEXDEV_ID	NUMBER	21

今回はPL/SQLコードのエラーなので、プロセス変数の編集は行いません。フロー・ダイアグラムを再度開き、タスク従業員への通知のPL/SQLコードをnull;に戻します。



変更の適用を実行し、フロー・モニターの画面に戻ります。

errorが発生しているプロセスの詳細を表示し、再起動を実行します。

ID	名前	ステータス	開始日	終了日	実行時間
76	タスク従業員への通知	error	23.12.2022 09:05:00	23.12.2022 09:05:00	0:00:00

確認画面が表示されるので、コメントを入力し確認をクリックします。

ステップの再起動

×

これによりサブフローが再起動されます。コメント(任意)を追加し、「確認」をクリックしてください。

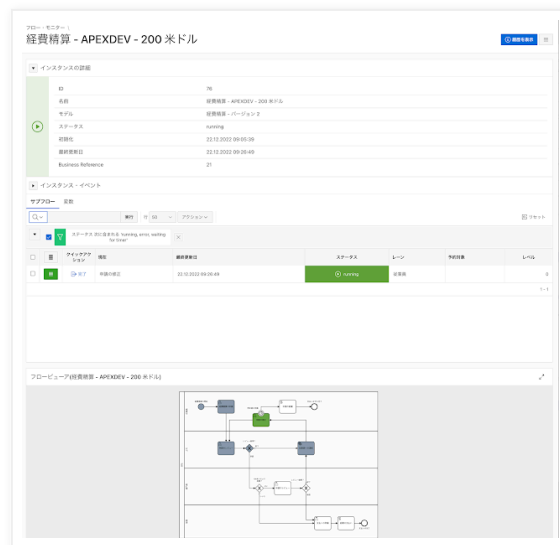
コメント

コードを修正した。|

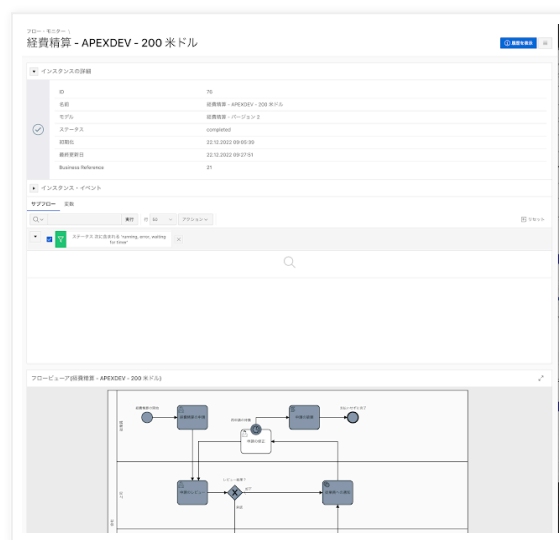
取消

確認

タスク従業員への通知が再実行されます。今度はエラーは発生しないので、フローはタスク申請の修正に移り、ステータスも**running**に変わります。



タイマー・イベントが有効であると、1分後にはワークフローは完了します。



ワークフローの処理の途中でエラーが発生した際、それまでに行われた処理をすべてキャンセルしてやり直すのは、現実的で無い場合も多いです。そのため、それぞれのステップでエラーを修正し、そのステップからワークフローを再実行できるのは、とても有用です。

続く

[ウェブ バージョンを表示](#)

## 自己紹介

**Yuji N.**

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。  
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.

---